SHARP

家庭用

IHクッキングヒーター

設置説明書

ビルトインタイプ（単相２００Ｖ）

形名	トッププレート幅75cm	トッププレート幅60cm
	KH-AX7W	KH-AX6W
	KH-AX7B	KH-AX6B

安全のために必ずお守りください

- 設置の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しく設置してください。
- ここに示す注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

絵表示の詳しい説明は下記のとおりです。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される』内容を示しています。

	この絵表示は、してはいけない『禁止の行為』内容です。
	この絵表示は、必ず実行いただく『強制指示の行為』内容です。

設置完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書に沿って、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

警告

設置はお買い上げの販売店または専門業者に依頼すること
- 設置に不備があると、感電、火災の原因になります。

設置はこの説明書に従い確実に行うこと
- 設置に不備があると、感電、火災の原因になります。

設置は機器の重量に十分耐える所で確実に行うこと
- 強度不足や取り付けが不完全な場合、機器の落下によりけがの原因になります。

組み合わせる電気オーブンレンジは指定機器を使用すること
- 指定以外で使用すると、機器の過熱など事故の原因になります。
- 必ず電気オーブンレンジの設置説明書に従ってください。

電源は200Ｖ・30Ａ以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置すること
また、電源プラグ（250Ｖ-30Ａ）に合った専用コンセントを単独で使用すること
- 電源回路の容量不足や設置に不備があると感電、火災の原因になります。

設置部品は、必ず付属部品または、指定の部品を使用すること
- 異なった部品を使用すると、機器の落下や感電、火災の原因になります。

アース工事を必ず行うこと
アース工事は有資格者によるＤ種接地工事が必要です
- アースが不完全な場合には、感電の原因になることがあります。

絶対に分解・修理・改造は行わないこと
- 火災、けが、感電の原因になります。

注意

トッププレートに衝撃を加えない、上に乗ったり物を落とさないこと
- ひびが入ったり割れた場合、異常動作、感電の原因になります。

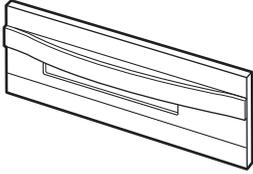
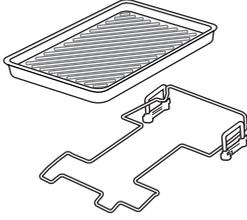
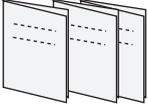
試運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部に触れないこと
- やけどのおそれがあります。

ワークトップの材料は、耐熱材料の物を使うこと
- 熱硬化樹脂高圧化粧板（ＪＩＳ　Ｋ　６９０３）またはこれと同等以上の物。
  耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。
  ※ニス引きの物は変色するため、使わないでください。

付属部品

この説明書のイラストは説明用です。
品番により実際とは異なります。

■ 包装材を取り外し、下記の付属部品をご確認ください。

グリルパネルカバー左右	グリル扉	角皿・角皿ホルダー	天ぷら鍋
右用 1個 左用 1個	1個	各1個	1個

グリルパネルカバー	水タンク	印刷物
1個	1個	取扱説明書 （お料理集付き）　各１冊 設置説明書 ご使用ガイド

1　電気工事および接地工事

- 電気工事は、必ず「法的有資格者」が行ってください。
- 電気工事や接地工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に準じてください。

■ 電源はブレーカー付き単相200Ｖ・30Ａの専用回路を設けてください。
- 三相200Ｖ（動力電源）は使わないでください。（故障の原因になります）

単相100Ｖでは電源スイッチを入れて加熱動作をしたとき、天面表示部にC61を表示します。

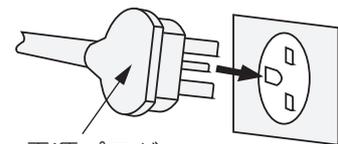
■ 漏電しゃ断器は必ず設置してください。
- 漏電しゃ断器：定格電流30Ａ、感度電流15ｍＡ
  推奨漏電しゃ断器：パナソニック電工製　BJS3022N（HBモジュール）またはBSHE23022（コンパクトタイプ）

■ 電源コンセントを設置してください。
- 単相３線式定格250Ｖ・30Ａ（一極接地用）
- 電源プラグに合った埋め込みコンセントを使用してください。
  推奨コンセント：明工社製　ME8586
  パナソニック電工製　WF3630B

形状

お願い

- 電源コードがよじれたり、負担がかからないように電源コンセントの向きにご注意ください。
- 電源コード（電源電線およびアース線）は、電源プラグを外したり切断して直結しないでください。
  漏電やショートによる感電・発火の原因になります。

（コンセントへの差込み方）

- 電源コンセントの取り付け位置は『３ システムキッチンとの関係寸法図』を参照ください。

■ 接地工事を必ず行ってください。（Ｄ種接地工事）
- コンセントの一極接地用に配線してください。
  アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースには絶対に接続しないでください。

アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■ 屋内配線用電線は、単線で線径Φ２.６㎜以上の物を使用してください。

2 製品外形寸法図

（注）品番によりデザインが異なります。

（単位：mm）

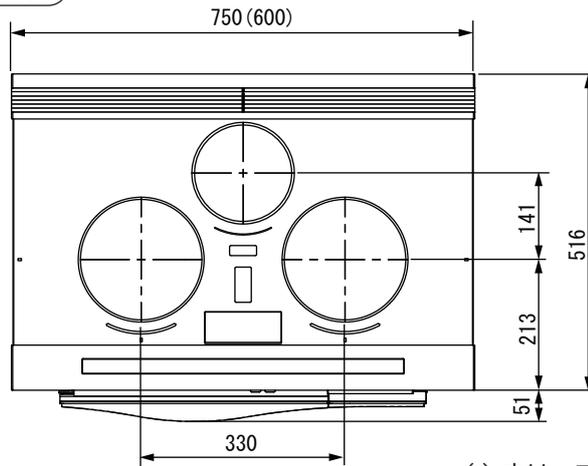
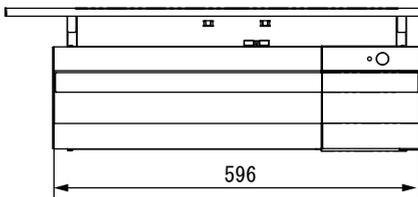
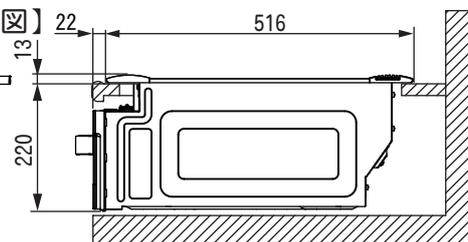
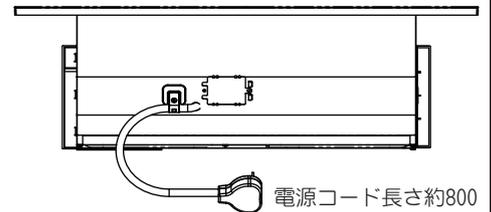
【平面図】(トッププレート７５㎝タイプ)

750(600)、516、141、213、51、330

・（ ）内は、プレート幅が６０㎝の場合です。

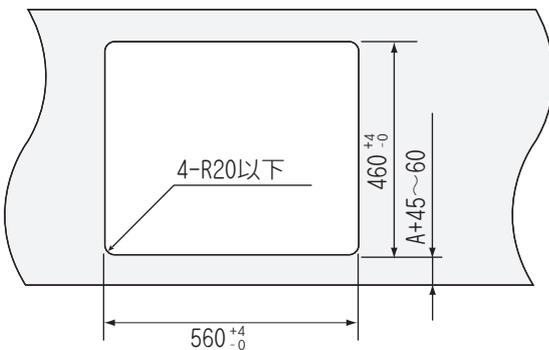
【正面図】 596

【側面図】 22、516、13、220

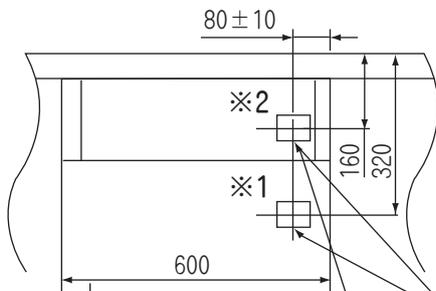
【背面図】 電源コード長さ約800

3 システムキッチンとの関係寸法図

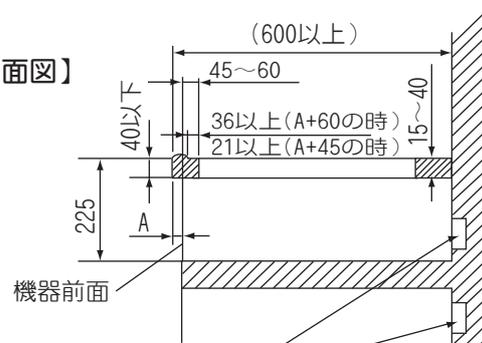
（単位：mm）

〔取り付け穴：ワークトップ切り込み寸法〕

4-R20以下、460 $^{+4}_{-0}$、A+45～60、560 $^{+4}_{-0}$

★Ａ寸法は、ワークトップ前面と
キャビネット前面(機器前面)との差です。

※1　仕切り板を使う可能性のある場合
※2　仕切り板を絶対使わない場合

【正面図】 80±10、※2、※1、160、320、600

前面より奥行20mm以上は
600mm幅の空間が必要です。

【側面図】 (600以上)、45～60、40以下、36以上(A+60の時)、21以上(A+45の時)、15～40、225、A、機器前面

キッチン背面の壁のこの位置に
コンセントを設けてください。
埋め込みコンセントを使用してください。
キッチンによっては、コンセントの位置が指定されて
いる場合がありますので、ご注意ください。

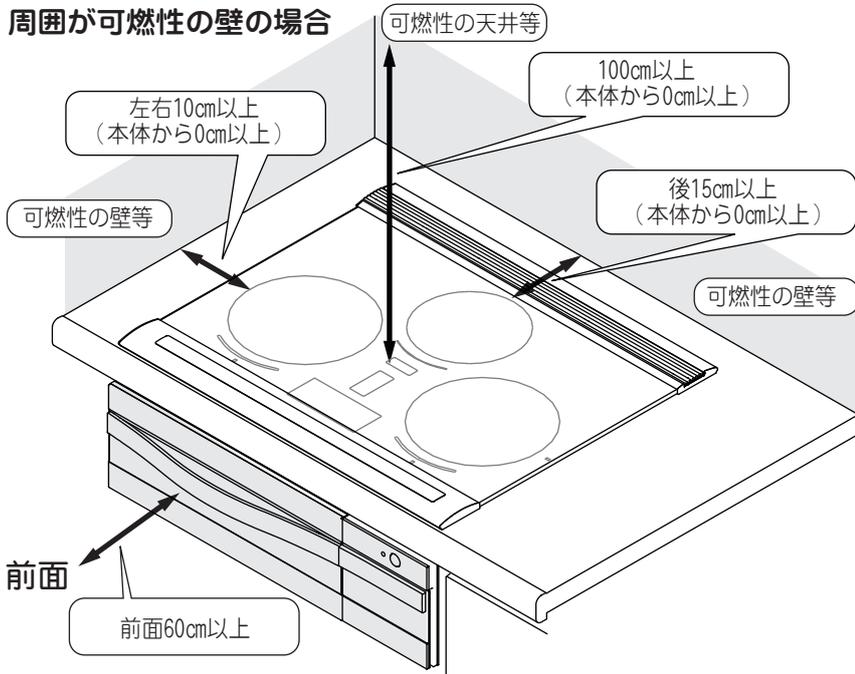
コンセントの向きに注意してください。
（アース端子を左側に向けて取り付けてください。）

4 設置場所の確認

- 火災予防条例、電気設備技術基準省令第５９条に従って設置してください。

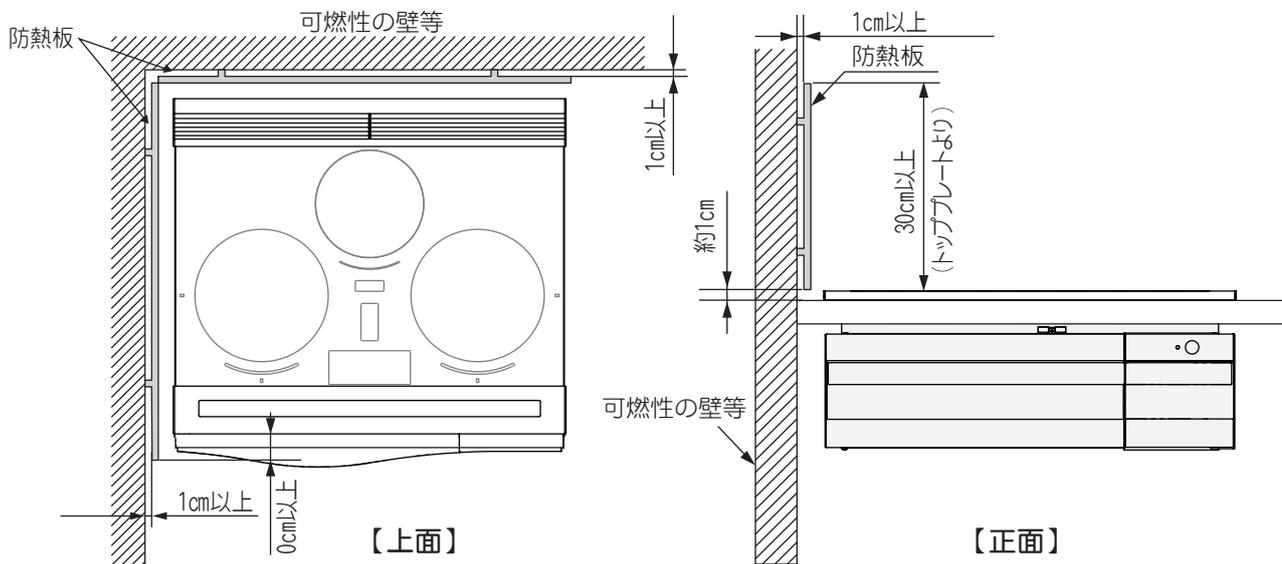
■壁・天井からの距離

- 器具は火災予防上、可燃物（木壁・棚）との間を側方１０㎝以上、後方１５㎝以上、上方１００㎝以上離してください。また、器具の前面はグリルを引き出すため、６０㎝以上離してください。
不燃性の壁の場合はその限りではありません。

周囲が可燃性の壁の場合

［消防法 基準適合　組込形］

場所	離隔距離(cm)
器体上方の左	10
器体上方の右	10
器体上方の後	15
上方	100
左方	0
右方	0
前方	―
下方	0.5

（　）内は不燃性の壁または、防熱板を取り付けた場合。

可燃性の壁から、上記の距離を離して設置できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。

⚠ 注　意

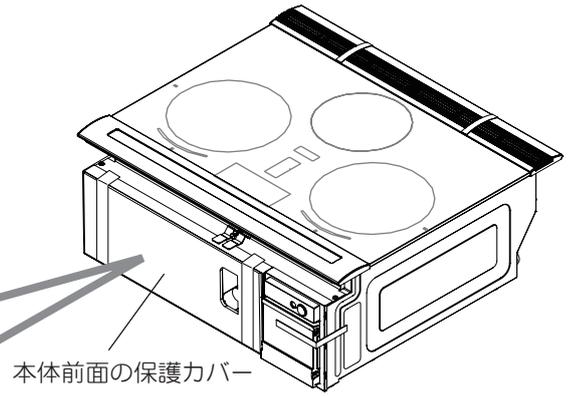
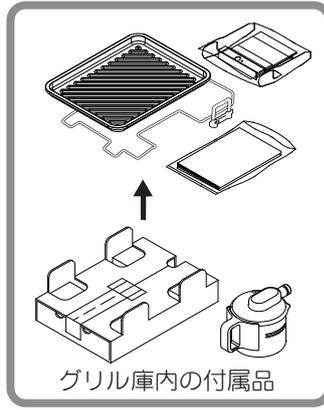
- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部が接触しないようにするか、または、器具の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付ける。
- 本体をタイルやモルタルで塗り込まないようにする。
（点検やアフターサービスの妨げとなります。）

5 設置

設置するとき、本体に傷を付けないように注意してください。

■ 付属品を取り出す

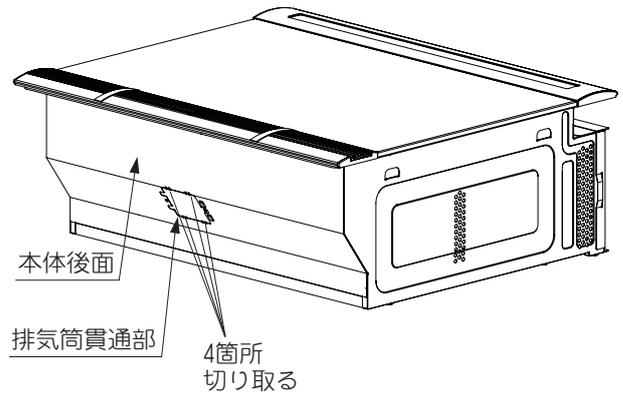
● 本体前面の保護カバーを外して、グリル庫内の付属品を取り出してください。

取り出さずに設置した場合、付属品がとび出たり、ケガをする恐れがあります。

電気オーブンレンジと組み合わせる場合

■ 本体後面に排気筒貫通穴をあける

● 本体後面の４箇所をニッパなどで切り取り、穴をあけてください。
（取り外した排気筒貫通部は不要です。）

確認

ＩＨクッキングヒーター単独設置の場合は、排気筒貫通穴はあけない。
（開口部からゴキブリなどの害虫が入り器具が故障する原因になります。）

■ 本体の設置

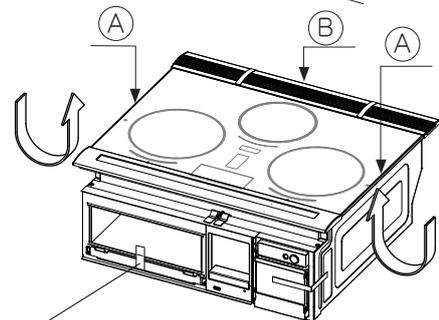
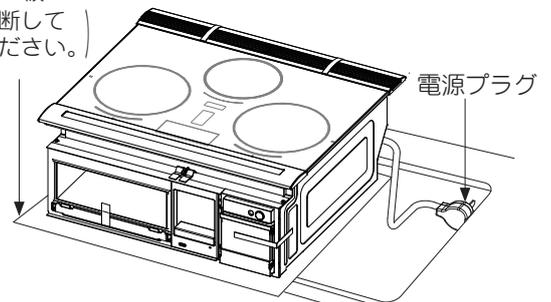
１.電源プラグをコンセントに差し込む

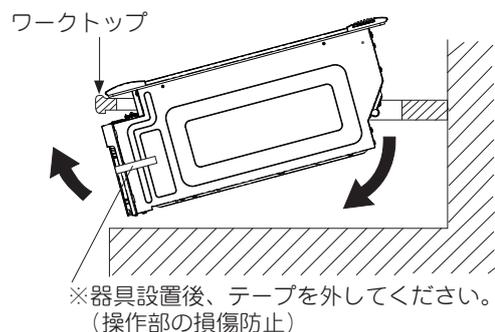
● ワークトップに傷を付けないように包装用ダンボール板などを敷いてください。

２.ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

● 本体の左右Ⓐ部を両手で持って、前面をワークトップ取り付け穴に挿入してください。

※ はめ込み時、前面をワークトップに当てないでください。
（スイッチの損傷や前面パネルに傷が付く原因となります）

● 本体後面Ⓑ部をゆっくり降ろしてください。
トッププレート枠の角を持たないでください。

※器具設置後、テープを外してください。
（本体はめ込み時、レールが出てくることがあります）

※器具設置後、テープを外してください。
（操作部の損傷防止）

注　意

確認

● 本体挿入時に電源コードをワークトップやキャビネットに挟み込まないように注意する。
電源コードが損傷し、感電や火災の原因になります。

● トッププレート枠下面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。
（煮汁が本体内に入り機器が故障する原因になります。）

5 設置（つづき）

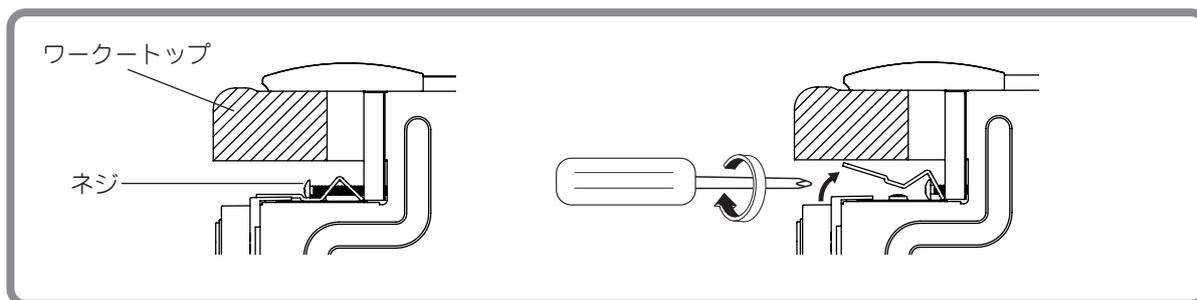
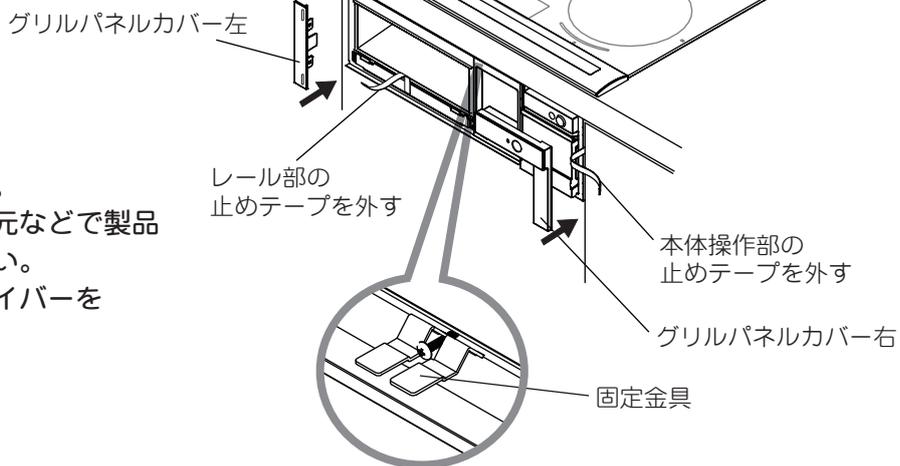
設置するとき、本体に傷を付けないように注意してください。

3.本体の位置合わせ

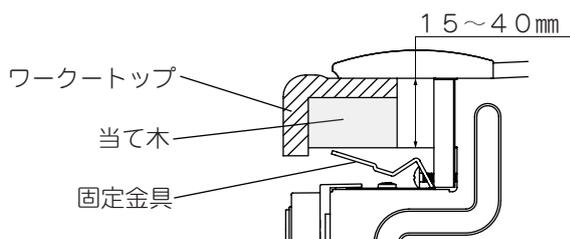
- 付属のグリルパネルカバー左右を取り付けて、本体が中央にあることを確認してください。
- キャビネット扉面に本体の前面が合うように調整してください。

4.前固定金具を固定する

- ネジを締め付けて、固定金具をワークトップの裏面に固定する。

※固定時は、ドライバーの先や根元などで製品を傷つけないようにしてください。
※先の長い（約７０㎜以上）ドライバーをお使いください。

※ワークトップの厚みが薄い場合

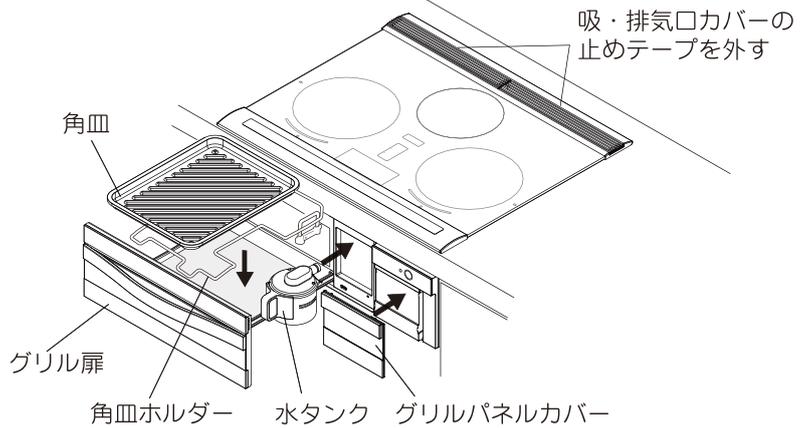
- 固定金具はワークトップの厚みが１５～４０㎜に適応します。
  厚み１５㎜未満の場合は、当て木を添えてください。

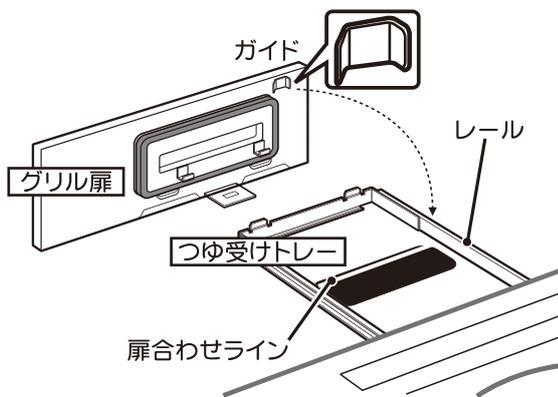
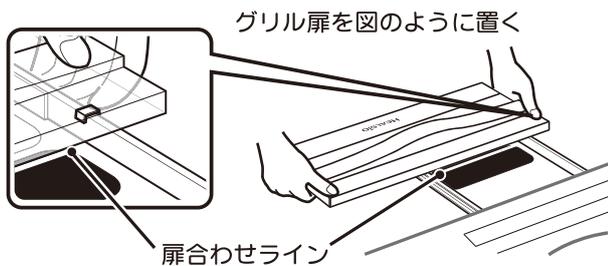
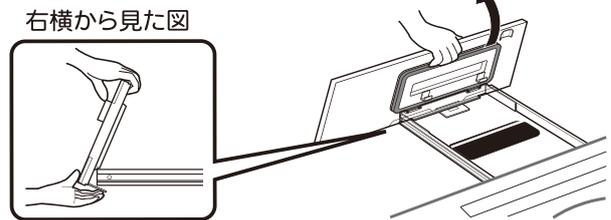
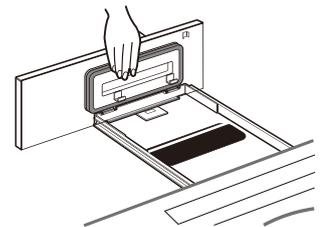
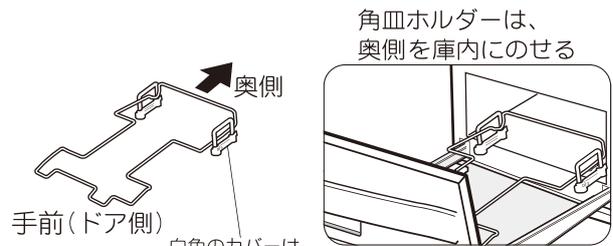
⚠ 注　意

- 固定後、本体を押して動かないことを確認する。
- トッププレートが浮いていないことを確認する。
  （煮汁などが器具内部に入り、器具が故障する原因になります。）

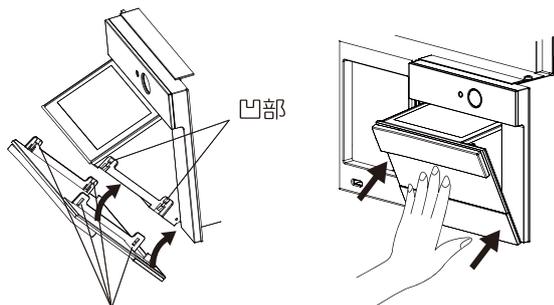
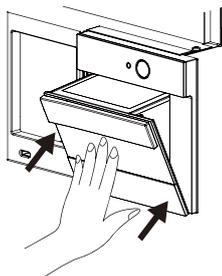
6 設置完了後

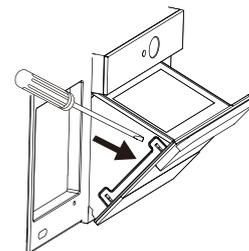
■付属品およびグリル部の取り付け

①水タンクを入れ、グリル扉・角皿・角皿ホルダーを取り付ける。

②グリルパネルカバーを取り付ける。

■グリル扉の取り付け方

①つゆ受けトレーを引き出して作業します

②グリル扉のガイドをレールにのせ、グリル扉上部をつゆ受けトレーの「扉合わせライン」に合わせて置く

③グリル扉を落とさないよう、手で支えながらグリル扉下部を支点に先端を起こす

④「カチッ」と音が鳴るまで起こす

⑤角皿ホルダーを付け、角皿をのせる

最後に、扉が確実に閉まるか確認してください。
閉まらないときは、正しく取り付けられていません。
再度、はずして、付け直してください。

■グリルパネルカバーの取り付け方

ツメの穴に
凸部をはめる。（4か所）

前面を押し込み中央が
浮いていないか確認する。

■取り外し方

操作部を開き、マイナスドライバーで
ねじるように左右のツメを外す。（4か所）

7 設置終了後の確認

■次の手順で確認し、チェック欄に印をしてください。

確　認　事　項		チェック
電　気　工　事	● 漏電しゃ断器が設置されていること ● 接地工事がされていること	
包装材の取り外し	● グリル扉・グリル庫内に包装材がないこと	
付属品などの取り付け	● グリル扉・角皿・角皿ホルダー・水タンクの取り付け ● グリルパネルカバー左右・グリルパネルカバーの取り付け ● 前固定金具の取り付け	
外　観	● トッププレートが浮いていないことを確認する	
試　験　運　転 取扱説明書をご確認ください。	● 電源電圧が単相3線式200Vであることを確認する ※単相100Vでは、電源スイッチを入れて加熱動作をしたとき、天面表示部に C61 を表示します。 ⇒ 単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。	
	● 電源を入れる（2秒程度押す）⇒電源ランプが点灯する ※天面表示部（中央）に”デモ”表示が出ていたら・・・・・ デモモードに設定されており、加熱出力がでません。 グリル操作部（カンガルーポケット部）を開け、レンジフードの『切』キーを”ピッ”と音が鳴るまで4秒以上押し、さらに4回押してデモモードを解除する。（『デモ』表示が消えたのを確認）	
	各ヒーターの動作チェックをする ※ＩＨヒーターは鍋を置かないで操作した場合、鍋無し自動ＯＦＦ機能がはたらいて、約１分後に自動的に通電を停止します。	
	左右ＩＨヒーター、中央ＩＨヒーターは、調節キー「∨ ∧」および「切/スタート」キーを操作して作動を確認する ● 水を入れた鍋を置いて、お湯を沸かす ※「自動メニュー」キーを押し、「揚げ物」を選択して、作動確認をした場合、お湯が沸く前に通電を停止しますが、異常ではありません。 ● 確認後は、「切/スタート」キーを押して「切」にする	
	グリルは、調節キー「∨ ∧」および「スタート」キーを操作して作動を確認する ● グリルの中が熱くなることを確認する ● 確認後は、「切」キーを押して「切」にする	
	● 電源を切る⇒電源ランプが消灯する	
外観仕上げ	● トッププレートが汚れていないことを確認する	

総消費電力の切り替えについて

本製品は、総消費電力を５.８ｋＷ（工場出荷時の設定）・４.８ｋＷの２段階に切り替えることができます。
ブレーカーの容量不足などで、ご使用上、不便があるときに選べます。

◆ 切り替え（5.8kW→4.8kW）方法 ◆

1. グリル操作部の、レンジフード「切」キーと「 切/入 」キーを同時に４秒以上押した後、レンジフード「 切/入 」キーを４回押す。 ⇒ グリル操作部に５８００が点灯する。
2. グリル操作部 調節キー「 ∨ 」を押す。 ⇒ グリル操作部が４８００の点灯に切り替わる。
3. 切り替え設定後、「確定」キーを押し、電源スイッチを切る。 ⇒ ４.８ｋＷに切り替え完了。

● 設定を元に戻す場合は、上記１～３の操作を再度おこなってください。
（1. ４８００が点灯 ⇒ 2. ５８００を選択 ⇒ 3.「確定」キーを押し、電源スイッチを切る。）

● 試験運転後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
● 試験運転に付属の天ぷら鍋を使用したときは、必ず水を捨て、さびを防止するためよくふいてください。
● 設置完了確認後、保証書に必要事項を記入のうえ、この説明書とともにお客様へ渡していただき、保管のお願いをしてください。

設置完了確認者印	

シャープ株式会社
本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
健康・環境システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

3478